

第3章 教育施設の目指すべき姿

上位計画（大分市公共施設等総合管理計画）では、公共施設の目指すべき姿として以下が設定されています。

公共施設の目指すべき姿 [大分市公共施設等総合管理計画]

- ▶ 安全性が確保され、安心して利用できる施設
- ▶ 人口構造・財政規模と調和した公共施設
- ▶ 変遷する社会的ニーズへの対応を踏まえた機能重視の施設

これら上位計画や現状を踏まえ、「安全」「生活」「環境」「学び」「共創」の5つの視点から、本計画における「教育施設の目指すべき姿」を以下のとおりとします。

安全

安全性が確保され、安心して利用できる施設

- ▶ 地震や風水害などに強い構造とし、避難所としても機能する防災拠点を整備します。
- ▶ 定期点検と計画的改修により、老朽化対策と施設の信頼性を確保します。

生活

快適で安心できる学習環境の確保

- ▶ 自然光や通風を確保し、温熱・照明環境に配慮した健康的な空間を整えます。
- ▶ バリアフリー化を進め、全ての児童生徒が安全・快適に利用できる環境を実現します。
- ▶ 学校給食や日常生活に関わる施設についても、安全性・効率性・継続性を重視した計画的な保全を行います。

環境

持続可能で調和のとれた施設運営

- ▶ 建物改修フローに基づき、長寿命化とライフサイクルコストの削減を進め、人口構造・財政規模との調和を図ります。
- ▶ 脱炭素社会の実現に向けて、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を推進します。
- ▶ エコスクールとして環境教育の拠点となり、次世代への意識啓発を図ります。

学び

多様な教育活動を支える柔軟な施設

- ▶ 個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、可変性のある教室・学習スペースを整備します。
- ▶ 調べ学習、チームティーチング、異学年交流など、多様な学習活動に対応した空間と設備を備えます。
- ▶ ICT環境を充実させ、教育の質の向上と教職員の業務効率化を図ります。

共創

地域とともに育つ開かれた教育施設

- ▶ 学校を地域の学び・交流・防災の拠点として開放し、地域住民との協働を進めます。
- ▶ 公民館、こどもルームなど他の公共施設との複合化を図り、地域コミュニティの核としての機能を高めま
- ▶ 県や民間事業者との連携を検討し、施設整備・運営の効率化と地域のにぎわい創出を両立します。